

本人患者さんへの情報公開文書

「当院における^{きょくしよしんこう・せつじよふのうすいがん}局所進行・切除不能膵癌をコホートとした^{こうほうしてきかんさつけんきゅう}後方視的観察研究」
についてのご説明

- はじめに

局所進行膵がんは、切除可能性により切除可能、切除境界、切除不能(^{アンリセクタブル}unresectable, UR)と分類され、なかでも局所進行切除不能膵がん(^{ゆーあーる}UR 膵がん)は、転移がないものの、主要血管への浸潤があることから進行度が高く、根治切除が通常は不能、もしくは腫瘍遺残を伴う切除となる可能性が高く、予後は極めて不良とされています。膵がん全体の30%が切除不能・URとして発見され、2010年以降の研究を参照すると、それらの生存期間中央値は5.9-16.0ヵ月と報告されています。

- 研究対象；2016年12月までに当院にて受療し、画像診断にて局所進展により切除不能(Unresectable,UR)と診断された膵癌症例を対象とします。
- 研究期間；病院長承認日～平成29年6月31日
- 症例数；103例
- 研究内容と患者負担

各患者さんの電子カルテ上のデータを収集し調査いたします。得られたデータは、下記のデータセンターに集約され、解析されます。全てのデータに対し、匿名化処理を行ないますので、被験者の方の個人情報には完全に保護されます。

研究の被験者となることを希望なさらない場合、お申し出いただければ、ただちに研究対象から除外いたします。患者さんの日常診療以外の余分な負担や経費は生じません。

この研究にご質問のある方は、下記の連絡先までお申し出ください。

問い合わせ先

札幌市中央区南1条西16丁目

札幌医科大学附属病院 消化器・総合、乳腺・内分泌外科

TEL: 011-611-2111(内 2131)

研究責任者 木村康利